

# 水無みより

第20号

東地区地域づくり協議会々報  
発行 平成29年2月1日  
発行責任者 佐藤成孝  
茗荷沢268番地1(東開発センター)  
電話 025-779-3312

## 赤石・三用 - 両校長が見た

### 「地域の気風」

東地区の気風は一。縁あって東地域に赴任し、それぞれの小学校を通して感じている地域の気風を、赤石・早川政宏、三用・須藤高志の両校長先生から寄稿頂いた。

たのを今でも昨日のここのように覚えています。あれからもう2年が経とうとしています。

### 満足せずにもう一歩

私が赴任してまず感じた子供の印象は、明るく素直で人なつこく、保育園からずっ(写真下へ)

一方、子供たちと一緒に過ごしていくうちに、“ここは鍛えていかないといけないなあ”と思う部分も見えてきました。

一つは、勉強でもスポーツでも、学年で一番を取ったり全校で上位に入ったりするだけで満足し、それ以上を目指そうとしない。いわゆる「御山の大将」で満足している子が多いのではないかということです。保育園から続く9年間の中で、無意識のうちに集団の中での自分の立ち位置を勝手に自分で決めてしまい、そこを守るだけに終始している感じを受けます。中学校へ進めば他校の生徒と一緒にになり、自ずと世間の広さを知ることになるのですが、私は小学校段階でもスポーツ少年団や習い事(写真下へ)

に感じるのか。相手の立場に立った言動ができる子供になるための取組を行っています。

### まず親同士がつながって

毎年、PTA総会の折に話していることは、“親同士の仲が良いクラスは自然と子供同士の仲もよくなる”ということです。これは私自身の体験に基づく言葉です。親同士の関係が実は微妙に子供同士の関係にも影響してきます。親同士の仲の良いクラスは子供同士も仲が良い。仲が良いと、けんかやいじめもなく、余計なところに気をつかう必要がないので勉強やスポーツに集中できる。仲がよいので足を引っ張り合うこともなく、切磋琢磨しながら互いにどんどん力を伸ばしていく、という良いスパイラルで物事が動いていきます。ですから、自分の子供を伸ばしたかったら仲のよいクラスにしていく。仲の良いクラスにするには「まず親同士がつながっていくこと」なのです。

いじめや不登校がクローズアップされている今だからこそ、まず大人が望ましい人間関係づくりの手本を示していきましょう。

27	25	22	19	14	11	10	6	2	6	5	9
南魚沼市立赤石小学校(新任校長)	長岡市立神田小学校	魚沼市立入瀬小学校	新発田市立本田小学校(新任教頭)	長岡市立上組小学校	新潟市理科教育センター所員(現新潟市秋葉区)	県立教育センター理科長期研修(新潟市)	長岡市立関原小学校	長岡市立栖吉小学校	東頸城郡松代町立蒲生小学校(現十日町市)	昭和59年上越市立春日新田小学校(新採用)	勤務歴



## 赤石小

早川校長先生



### 駒ヶ岳と八海山に圧倒されて

2年前の平成27年3月27日の昼過ぎ、確か、グラウンドにはまだ積雪が2m以上ありました。前任の齋木校長との引き継ぎのため、初めて赤石小を訪れました。その日は朝から素晴らしい晴天で、駐車場に止めた車から降りた瞬間、青空にそびえ立つ駒ヶ岳と八海山に圧倒され(写真上へ)

と一緒にの子が多いせいか、どのクラスも男女の仲がよいことです。また、クラスだけでなく、全校でも100人程度なので、子供同士が顔と名前をほぼ全員分かったというアットホームな温かさを感じました。小規模校ならではの大きな利点だと捉えました。(写真右上へ)

等を通して、世間の広さとさらに自分を高めることの必要性に気付いてほしいと思っています。

もう一つは、保育園から気心の知れた関係が逆に災いしているのか、相手の心を傷付けるような厳しい言い方や心無い言葉のやり取りが聞こえてくることです。こう言ったら相手はどんなふう

赤石小では三年前からPTAが主体となつて毎年、夏休みに水無川遊泳を行っています。後援会からライフジャケットを購入していただき、楽しく安全に水遊びを楽しんでいます。大人になつても、きっとこの日のことは忘れないと思います。

24(金)	23(木)	10(金)	7(火)	23(木)	16(木)
卒業証書授与式	3学期終業式	学習参観、学年懇談、PTA引継会	6年生ありがとう集会	安全パトロールの方々の面識会	赤石小の今後の主な行事予定

昭和33年生まれ、十日町市中条出身 青山学院大学文学部卒業	昭和58年4月～平成13年3月 栃尾市、弥彦村、十日町市、中里村の小学校で教諭として勤務	この間、平成3年4月～6年3月 新潟県教育庁文化行政課（埋蔵文化財発掘調査担当の文化財専門員）勤務	平成13年4月～25年3月 能生町、小千谷市、南魚沼市、津南町で教頭勤務	平成26年 三用小学校長 趣味 写真・囲碁
----------------------------------	---	--	---	-----------------------------

**略歴**

りします。

**地域のスピリッツが若者に伝わる地域**

三用地域とのかかわりの中で最も感銘を受けたことは、9月の敬老会と明朗運動会です。特に敬老会を企画運営するのが、三用小学校同窓会であることに驚きを覚えました。なぜなら、これまでかかわってきた地域の中で、敬老会の運営は、区長会か地区振興会と決まっていたからです。どのようにして同窓会がこの会を切り盛りするよ

ター、特別養護老人ホームの訪問でも子ども達は、ごく自然にお年寄りと接することができます。この伝統は、ぜひ受け継いでもらいたいなあ、と祈らずにはられません。

**女性活躍社会が待たれる地域**

三用小学校には未だに女性PTA会長がいません。今の三役選考システムを続ける限り女性会長は容易には現れないんじゃないか、と思います。市内の小中学校にはときどき女性PTA会長

働き盛りの第一線を退く時期)まで、女性は裏で男性をうまく操っているのかもしれない、などと思ってしまいます。時の内閣が「一億総活躍社会の実現」を謳っている今日、若い女性の皆さんもどんどん社会進出をするようになると、三用地域も活性化するんじゃないか、と思います。

**キャリア教育推進を課題として**

国も県もキャリア教育の推進を重要な教育施策に掲げています。キャリア教育とは「一人一人の社会的、職業的な自立に向けて、自分のふるさとへの誇りを持ち、粘り強く自分の未来を切り拓く力を身に付ける教育」です。この地に生まれて育ったアイデンティティをもちつつ、将来自分が生きる場所がどこであっても、しっかりと地に足をつけて生きていく人材育成のために、私も力を尽くしていきたいと思ひます。



**三用小**

須藤校長先生

三用小学校勤務が間もなく3年目を終えようとしています。校長は、赴任した日に全職員に「学校経営の方針」なるものを示さなければなりません。職員とは初対面、子どもとも保護者とも会っておらず、地域の様子も知らない中で、最も伝えたかったことは、「学校とは、教育という営みを通して、そこにかかわる子どもも教員も保護者も地域も人間として成長する場でありたい。」ということです。すなわち、学校とは地域の一員として地域貢献のできる機関でなければならないということです。3年間、校長としてこの地域に学び、考えたことを少しおしゃべ

東地区明朗運動会 集落対抗障害物リレー



うになったのかは分かりませんが、小学校の保護者まはたそれより少し若い世代の人たち(ほとんど男性)がお年寄りの送り迎えから会の司会・進行・接待などほとんどを受け持ち、前日準備から片付けまでをきちんと成しとげる姿は、私の目には新鮮に映りました。

言うまでもなく、今の同窓会の人たちも、その先輩の姿を見て育ってきています。印象としては、消防団的だとも思えます。アトラクションのトランペット鼓隊として参加する5,6年生の子ども達もそういう父親や兄貴の背中を見ています。だから、じよんのびの会やデイサービスセン

が会合に出席します。女性の社会進出は、ある意味では日本の国全体の課題とも言えますが、この地域はなおさらではないかと感じています。

では、この地域の女性が表に出ることをことさらに遠慮しているのかといえば、そうでもない場面もあります。先般、東地区地域づくり協議会女性部主催の東日本大震災被災地視察研修旅行に同行させていただきました。すごいパワーを感じます。じよんのびの会に出てこられる元気なお年寄りも女性ばかりです。

もしかしたら、ある一定時期(例えば男性が

The Mizunashi-Miyo Passions  
水無みようパッション

東地区地域づくり協議会ブログ  
higashi333.exblog.jp

2016年12月(41) この月の画像一覧

- ことしをよめる [2016-12-31 20:30]
- 水無みようパッション [2016-12-31 23:00]
- ついに開催決定! [2016-12-31 10:30]
- 今日はトナリ [2016-12-31 09:14]

協議会ブログの紹介

「水無みようパッション」  
The Mizunashi-Miyo Passions

検索は  
東地区地域づくり協議会ブログ  
または  
Higashi333.exblog.jp